

「ジルセウは組織の首領」

ヴァレリーリオらも共犯 判事の投票結果は6対4

最高裁でのメンサロン裁判39日目となった22日、メンサロンが組織ぐるみの計画犯罪であるかをめぐり、13人の被告に対する審理が行われ、ジョゼ・ジルセウ被告(労働者党・PT)ら10人に有罪判決が下った。これにより、同事件は正式に集団政治犯罪として認識されたことになる。23日付付字紙が報じている。

全被告中25人有罪に

最高裁は22日、「メンサロン事件」はジョゼ・ジルセウ被告をはじめとしたPTの要人3人が企業家のマルコス・ヴァレリーリオらも共犯として有罪に判決を下した。



有罪判決を受けた6人の最高裁判事たち

この結果、ジルセウ被告、ジョゼ・ジェノイノ被告、デル・ピオ被告、ヴァレリーリオ被告を含む企業家グループの5人、カチア・ラベロ被告をはじめとする農業銀行の幹部2人の計10人が有罪となった。農業銀行元副頭取のウニシウス・サマラ被告は5対5で未決、ヴァレリーリオ被告の秘書だったシモ・ヴァス被告は7対5で有罪とされた。農業銀行と農業銀行副頭取のアドナ・テノリーオ被告は無罪となった。

米国のビザ発行で中国抜く 渡米ビザ不要化へ後押し

米国が伯国人に発行する観光ビザ(査証)の件数が11年に中国人向けを上回り、12年は100万件発行に迫る勢いだ。19、23日付付字紙が報じている。

携帯電話は全部9桁に 16年末までに移行完了

国家電気通信庁(Anatel)は、2016年末までに全国の携帯電話の番号を9桁に移行させる意向だと24日付付字紙が報じた。

回線が9千万回線まで増加可能となる。これら移行計画は、2014年末までに9桁に移行される見込みだ。それ以外の州は2016年末までに9桁に移行される見込みで、全国では既に2億5600万回線と見られる。移行は既に開始されている。

「アヴェニダ・ブラ」は可能となった。ジルセウ被告は今回の裁判結果などについて「私は犯罪組織と書面で訴えた。これは民主主義の危機だ」とまで落ちてきている。

「オグン(破壊の神)」を「オグン」の音読みで「オグン」として、この番号がドラゴン退治の伝説で知られる聖ジョルジにちなんでつけられた。この番号は聖ジョルジとは直接的に無関係だという。

「アヴェニダ・ブラ」は可能となった。ジルセウ被告は今回の裁判結果などについて「私は犯罪組織と書面で訴えた。これは民主主義の危機だ」とまで落ちてきている。

「アヴェニダ・ブラ」は可能となった。ジルセウ被告は今回の裁判結果などについて「私は犯罪組織と書面で訴えた。これは民主主義の危機だ」とまで落ちてきている。

ユネスコ女性科学者賞

南大河在住のマルシア氏に 家庭を持っても研究可能

リオ・グランデ・ド・スル連邦大学ホルト・アレグレ校のマルシア・パルボイザ教授(52)が、物理学の分野で目覚ましい業績を上げた一人として評価され、ロレアル・ユネスコ女性科学者賞を受賞した。23日付付字紙が報じた。

同賞は、1998年にロレアルとユネスコが世界規模で女性科学者の地位向上を目指すために創設したもので、15周年となる今年に受賞者5人を加え、72人の女性科学者が受賞。その中からは2人のノーベル賞受賞者も出ている。

また、将来が期待される博士課程や博士研究員レベルの若手女性科学者を支援する「ロレアル・ユネスコ奨学金」では既に1300人以上の女性科学者が表彰されているという。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

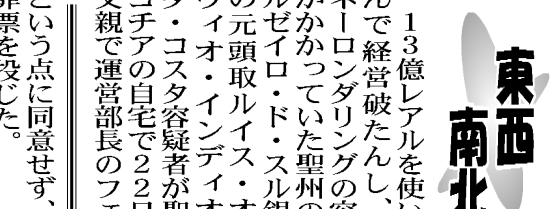
「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。



ユネスコ女性科学者賞を受賞したマルシア氏

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

「この言葉は女性科学者への偏見がまだ強いことを知る故のことで、女性が科学の道に進むと、言っている人がいるが、私は女性として、家庭を持って、研究を続けることが出来る事を世の中に知ってもらいたい」と話す。

百年目の肖像
IMAGENS DO CENTENÁRIO
2008 - Ano do Centenário da Imigração Japonesa no Brasil
ブラジル日本移民100周年 記念写真集 R\$ 80,00
お求めは本社まで
Rua da Glória, 332 - Liberdade - São Paulo
(11) 3208-3977

第8回 みなとみらい文芸祭
海外日系文芸祭
作品集販売
1冊：15レアル
世界14ヶ国、応募総数1855の短歌と俳句の中から選ばれた各賞受賞作品、入選作品を掲載。
過去の作品集も取扱っております
第7回文芸祭 (2010年) 10レアル
第6回文芸祭 (2009年) 8レアル
第5回文芸祭 (2008年) 7レアル
第4回文芸祭 (2007年) 5レアル
第2回文芸祭 (2005年) 3レアル
ニッケイ新聞社本社にて販売致しております
※郵送をご希望の方はお申し込み下さい (郵送料(実費)は別途頂戴致します)
お問い合わせは(11)3208-3977(山根 又は マリア迄)

日本人の心の歌
SHOW BENEFICENTE
Melodias Imortais
Cancões que tocam na alma japonesa
8月19日に行われた恒例の「日本人の心の歌」DVD保存版!
お申込は (11)3208-3977 マリアまで

ニッケイ俳壇 (719)

星野 瞳 選

フ・ブルテンテ 野村いさを
春蘭に埋れる妻の棺を閉す
金貨のサマンバイア棺に掛け

亡き人を思ひ出させる秋彼岸
病葉や終の装ひ美しく
繩跳びの歌も絶え失せ夕残響

作者の御主人はサンパウロの東本願寺の輪番
を勤めて居られたが、ご夫婦で旭川に帰られ
て、御主人東雪師はそこで亡くなられた。東雪
さんは句集を残された。

蘭病の白きベツトに春惜しむ
車椅子影曳くたびに春鼓動
静寂にふと驚かす春の水

作者の半生は、すべてを病む妻に尽かされてい
るのではないかとされる程、「人事の俳句」
の全ては「病む妻」の句である。この世にもま
れな、良い夫を持たれて妻なる人は幸せであ
る。

花守の執念名所となりし園
父の日やゆるがぬ父の座でありし
ペンテビ遅刻きずかふ母の声

花守の執念で桜園になったのは「カルモの
桜」のことだと思つて、93歳で亡くなった松原
翁は「切腹を賭けて桜を咲かせた」と有名に
なった。カルモの花守であった。今は西谷さん
が花守である。

独立祭祭の行進はやし撮る
早魁に芝枯れかかる浅き春
宿り木に咲く蘭の花に見ほれたる

朝夕が四季の移ろひ春の宵
勿忘草なじみの花屋花の縁
青春を小箱に秘めて候

樹木の日園におしやれ丸
遠浅の海は静かや候
大橋子 中川 敬子

玄米のびつくり炊きとや夏秋田
※今、故郷に滞在中です。昭子
もりもりと一ツ金に咲いて金風花
咲きやつれしに金風花の散り急ぐ

春風の足止め坂と名付けたる
プリマペーラ清艶と云ふ色に咲き
思ひやり美しく妻の句盃盃益々

鳥獣も飢えてさまよふ水乾季
春早く細りし水路に登る魚
サラクラ目覚ましに今朝も鳴く

特売の宣伝カ行くと街は春
牛群もほくらまみれの春ひでり
雀等の砂浴みを見る陽たまりに

猫柳段々作りの養魚池
投球の一直線や風光る
広大な国土を誇る独立祭

うららかにやだてにのりてまた踊る
楽しみのまだある余生老の春
稿終えて身を軽々と春の夜

春宵の桜にとりし滑り汁
字面のみ読み居し本や春眠し
鳴くサビアに急かされし如朝厨

春眠か誰にも気兼ねなき暮らし
春愁や詮なき事に夫を恋ふ
春愁や詮なき事に夫を恋ふ

大農のさぞと見違る野焼
池田 童夢 死に花を咲かせ孝子姉を
響りの墓地より届く十五階

主じアトリエに吹く春の
春待たず逝きしを惜しみサ
日とよく家族揃って遠足に

若林 敦子 春浅しガス配達車来鳴らし
小きき庭小きき喜ひ菊根分

カラオケの音痴になごむ春の宵
小春日の記憶に残る子守唄
磔像にも春光あまねき降りそそぐ

春の風邪に取り付かれたる身の重さ
肉太をふんわり隠し春の服
バラの花飾り待てど冬は来ず

東の間の併せに見る虹立てる
上下なく美しく紅と白のバラ
万両の殖えたる庭に深呼吸

草餅を分けて昔を語る友
庭すみで事足りて居り鉢蓮
今日ひと心満ちたる花見かな

池の面壁に水かけろうの立ちにける
池の春未来の大魚の小魚なり
水辺の万両三ヶ月も美しき

安原先生の講話聞かせよの春電話
萎えし足癒えし思いの春の句座
有季と孫に名付けて足取り春隣

お土産にみかん色の百合頂きぬ
イペー散つてシビルナ今満開
咳どめに果実のど飴ノンシュガ

吉崎でい子 ジャボチカバ田舎敷に百
緑の美市に出初めしアスパ
一言を添えて開かず自閉症

遠足や照つて陰つての飛
初物のアスパラガスは姿焼
浅海喜世子 ジャボチカバ、村上 士郎

遠足や照つて陰つての飛
初物のアスパラガスは姿焼
浅海喜世子 ジャボチカバ、村上 士郎

遠足や照つて陰つての飛
初物のアスパラガスは姿焼
浅海喜世子 ジャボチカバ、村上 士郎

天候か二度咲くイペーみじかなる
たんぼも昔の花になりけり
リベロニヒリス 母の日や猫の手は焼肉屋

菜園へ一と走りして豆をとる
アマリス友の名をつけ白と赤
老達に明る庭ありアマリス

朝サビアの出十分前と云う
早やばとサビアに起きて来る子かな
捨て来し仔猫に鳴かれ連れ戻る

よもぎ餅一類ばり目で語り
姿よく声も美しきサビアかな
孫達やないしよ仔猫飼つて居り

ピンポンの玉にもじゃれて仔猫かな
三匹の仔猫と遊ぶ子供達
カーテンにじゃれて遊んで仔猫かな

心込め土産に作るよもぎ餅
苦勞せし昔憶はる草の餅
村道に捨てられて鳴く仔猫かな

毛を立てて怒る仕草の仔猫かな
一と声で仔猫らばるふくみ声
散歩道よもぎに祖母を思ひ出す

またの日を約し別るるホー
ムの前 銀木犀の花におう
小池みさ子 大輪の白きアマリス開き

名歌集読むかたわらに子猫
きて昼寝するさま愛しかり
けり 浦野マルガリータ
真裸となりし樹木気がつ

見ゆ 上妻 博彦
遠地よりの老人の参加はむ
すく減りたり 短歌大い
たく高くより早くをモツ

寺田 雪恵
吾が周囲やきれぬこと多
時波開発進む世の進歩

開幕を待つ間は長しシネマ
館 林 久美 裏庭で陽を浴びヒタンガ採
相互其心を開き何時までも

井上 風車 手 新井 千里
開かれ世界はひとつ信閉
六十一年歌に励みし我なれば

須賀吐句志
塩飽 博博 次男孫兄ちゃんを泣かすき
かん坊 祖母ちゃんをすく

福博俳句会
(10月分)
落葉受け陽に透かすれば緑
(あお) きの命支えし細

第422回福博短歌会
(10月分)
たのまざる努力と命かけた
来しパラリンピックの選手

第523回
サンパウロ短歌会
(10月分)
うすいれる記憶だすと線
うすいれる記憶だすと線

桑原 和江
鹿島 和江
作野 敏子
白石 幸子

佐賀編
祇園川の生き物を
調査II岩松小児童

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

投稿者
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

長野編
諏訪の泉玉運慶
作「不動明王立像」
諏訪市四賀の仏法紹隆
寺が所蔵する泉玉「不動

天龍村でドラゴン
フルーツ初収穫
天龍村が「村の名前に
ちなんだ特産品を辰年に

ふるさと AGORA
カ、トンボやホタルの幼
虫などを捕まえた。
普段遊んでいる身近な

名所を巡りな
がらごみ拾い
小城商工会議所の会員
事業所と家族、従業員ら

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

おねがい
お読みやすい書体で
書いてください。
投稿された原稿は

伊藤実氏ら5氏に贈る



記念プラッカをもつ受賞者と近藤委員長(左)

芝やメロン等の普及改良で

祝福に160人が駆けつけ

ブラジル農業の発展に貢献した農業関係者に贈られる「第42回山本喜誉賞」の伝達表彰式が19日、文協ビル貴賓室で行われた。今回の受賞者5人は推薦によって選ばれた18人の候補者から選出され、故人である永井洋さん(享年68、帰化人、東京)にも感謝状が贈られた。福寿教輝在聖総領事ら来賓を含め、日系団体関係者や家族・友人ら約160人が会場を訪れ、受賞を祝った。

「亡父に受賞捧げたい」

戸田正純さん(61、和歌山)は約20年間同じ土地で高品質メロンの栽培を行い、ハウス栽培農家の模範となった。「これを加えれば必ず土が肥える、という堆肥は、土と向き合い試行錯誤を重ねながら、新しいものの開発を怠らなかつたことが今につながっている」と誇らしげに話した。「非常に大きな責任を背負う上にも減る、それでも真剣に挑戦したという若さでの受賞と

なつた大田正純さん(61、三世)は、現在も第一線でセツテ・パラース市の環境、貧困の問題の解決に向けた環境保全型農業の普及活動に取り組む。「社会的な仕事をすることで重要な受賞。仲間と共に精一杯頑張りたい」と今後のさらなる奮闘を誓った。「身に余る光栄。まさか自分がもらえるとは思っていません」と話したのは、聖州アラサツバ市でオクラ栽培の普及・発展に貢献した白石一資さん(77、二世)。「15歳の時に父と一緒に始めたオクラで、亡くなった

聖市モーターショー開幕

世界から熱い視線集まる

「サンパウロ共同」遠藤幹宜リオ支局長、ブラジル最大都市サンパウロで22日、国際モーターショーの報道陣向け公開が行われた。経済成長が続くブラジル市場に熱視線を送る自動車各社は24日の開幕を前に小型車を中心とした新型車を続々

と発表。ホンダやフォルクスワーゲン(VW)はトップ自らが会場であピールする力の入れようだ。2014年のサツカー・ワールドカップ(W杯)や16年のリオデジャネイロ五輪を控え、自動車需要は一層増える見通しで、ホンダの

伊東孝紳社長は「広大な国土で、車がほしいユーザーは多い。人口規模からすれば、まだまだ(需要は)広がる」と指摘。発表は「ブラジルは今の現地開発者を100人規模から2、300人に増やし、地元ニーズに合った生産を増やす考えを示した。VWはサッカー・ブラ



22日、サンパウロモーターショー会場でブラジル向け新型車Fit Twistの横に立つホンダの伊東孝紳社長(共同)

は500万台まで増え、と指摘し、投資を拡大する方針を明らかにした。ホンダも拡大する中間層の若者をターゲットに

拡大続ける自動車市場に

層の若者をターゲットに

援協に1万レを寄付

ビラ・カロン文化協婦人部

ビラ・カロン文化体育協会婦人部(坂田ミチ子部長、部員約130人)は18日、サンパウロ市助産婦人部(菊地義治会長)に1万レアルを寄付した。贈呈は援協部長、阿部チユエ、筆置光子副部長、会計の川野菜美子さんから5人が

菊地会長は「志の厚い寄付に感謝したい。皆さんのような日系団体の支援と協力が支えられて、援協は大きな組織になった。多くの方の救済に使わせて頂きます」と謝意を示した。今年で設立40周年を迎える同婦人部、援協へ



寄付に訪れた皆さんと援協役員ら

11月から定期勉強会開始 「みんなで意見交換を」

ブラジル日本会議(小森広理事)の定期勉強会が11月1日から始まる。毎週木曜午後2時から日本語センター(Rua Manoel de Paiva, 45, Vila Mariana)で開かれる。費用無料。日本の歴史を古事記の時代から振り返り、伝統

小野敏郎さん 日本で有名なボサノバ歌手・小野リサの父、60年代にクラブ「一番」を聖市セントロで経営していた小野敏郎さんが22日、東京の自宅で家族に見守られながらガンのため亡くなった。山梨県出身、行年88歳。数年前から入退院を繰り返す闘病生活をしてきたという。1924年に生まれ、50年代終りに渡伯し、当時コロンビアでは高級料亭全盛の時代だったが、「日本の高級クラブのサービスを提供する人向け」との独自の考

キリストの幕屋 映画上映会を27日に

死亡通知並びに会葬御礼

夫 山里 繁 (八十七歳) 儀

計報の小野敏郎さん。帰国後も作詞ギターの巨匠バーデン・パウエルを初めて日本に連れて行って公演させたという。日作音楽界の交流を活性化させたその生涯は、愛娘リサさんの日本での高い評価に象徴されている。

えから聖市ジャバクアラ区で最初のクラブ「ブラック・ジャック」を開店、約3年後に「一番」のクラブ「一番」をセントロに開いた。「当時、ブラジル人の普通のライブハウスでは飛び入りで歓迎しなかつたが、「一番」ではOKだったため多くのミュージシャンが喜んで演奏した。そういう場を提供したのは伯国音楽にとって偉大な功績」と音楽史に詳しい坂尾英知さんは解説する。

その店で当時最高レベルのブラジル音楽に親しんだ娘のリサさんは、1972年頃に家族で帰国した後、日本でボサノバ歌手としてデビューして成功した。敏郎さんは東京・四谷でブラジル音楽を聞かせるレストラン「サツシ・ベレ」を経営していた。

夫 山里 繁 (八十七歳) 儀

大目 小目 だったが、渡航を決意したのは農業技術の習得よりも「英語を話せるようになりたい」との思いからだったとか。現地でのホームステイ先の庭先で、練のように整った芝を見て「これだ!」と思ったのが芝生栽培の

刊行物「朝蔭」 10月号(第396号)が刊行された。「雑詠 寿和選」から3句「娘の家で上げ膳を中心にする」という。

小野敏郎さん 日本で有名なボサノバ歌手・小野リサの父、60年代にクラブ「一番」を聖市セントロで経営していた小野敏郎さんが22日、東京の自宅で家族に見守られながらガンのため亡くなった。

キリストの幕屋 映画上映会を27日に

死亡通知並びに会葬御礼

夫 山里 繁 (八十七歳) 儀

死亡通知並びに会葬御礼

夫 山里 繁 (八十七歳) 儀

死亡通知並びに会葬御礼

夫 山里 繁 (八十七歳) 儀

死亡通知並びに会葬御礼

夫 山里 繁 (八十七歳) 儀

